

富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画（案）パブリックコメントに対する考え方

NO	項目	意見の概要	市の考え方
1	第6期障がい福祉計画他に ついて	<p>前回の福祉計画は 相模原市の障害者施設で19人もの命が奪われ、27人が重軽傷を負うという痛ましい事件が起きました。後での計画案でした。</p> <p>今回は、更に難しく世界経済にも悪影響を起している「新型コロナウイルス感染症」です。コロナ禍の中での福祉計画であり、極めてむずかしい対応を求められている状況です。</p> <p>富谷市としても、差別による被害を「起こさない」「起こさせない」いためにも、今回の計画をしっかりと市民と当事者と、そこに働いている方々とのコミュニケーションを以下に取るかと言うことだと思えますし、この計画についても弾力的な対応が強く望まれていると思えます。</p>	<p>相模原市の事件は大変痛ましい事件であり、今後、同じことが起こらないような地域づくりが必要となります。</p> <p>計画策定にあたっては、「第IV章 第1 効果的なサービス提供体制 1. 関係機関等との連携 (1) 住民意識の啓発及び(6) 富谷市における地域包括ケアシステム」に記載のとおり、障がい児・者本人、家族、地域住民、教育、事業所等関係機関が協働で障がい者を取り巻く環境の更なる向上を目指し「誰もが安心して暮らせる富谷市」の取り組みを推進してまいります。</p>
2	第1期障がい 児童福祉 計画につ いて	<p>第1期で定められた推進計画の基本的な部分の評価がどのようなになっているのかよく見えていないような気がします。いわゆる成果目標について、提起されていないような気がいたします。</p>	<p>「第II章 障がい者の現状と第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の評価 第3 第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の評価 4. 成果目標の推移 (5) 障がい児支援の提供体制の整備」に記載しているとおり、国の指針による成果目標について、ほぼ達成している状況です。</p>
3	第4章 計画の 推進に 向けて	<p>1. 第5期障がい福祉計画・第2期障がい児童福祉計画における経過については、新型コロナウイルスが発生する前を中心にした評価となっていると思えます。むしろ評価と今後の財政指針、行動指針を考えるのであれば、2020</p>	<p>ご意見いただきました通り社会情勢は日々刻々と変化しております。本計画では、「第IV章 計画の推進に向けて 第2 進行管理と事業評価・計画の弾力的運用」に記載のとおり、計画期間中でも必要に応じて計画の見直しを行う</p>

富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画（案）パブリックコメントに対する考え方

NO	項目	意見の概要	市の考え方
		<p>年度（R2年度）の状況を早急に把握して今後の指針を考 えるべきではないでしょうか。その意味では、今計画につ いては1年ないしは2年で見直しをかけることを前提と して考えるべきだと思います</p>	<p>こと、計画の推進にあたって今後の社会情勢の変化や新た な国の施策等に柔軟に対応するため、必要に応じて弾力的 な運用を行う旨を記載しています。</p>
4	<p>第4章 計画の 推進に 向けて</p>	<p>2. コロナ禍においては、特に弱者にしわ寄せと差別が及 ぶことは火を見るより明らかです。今年度の国の第3次補 正予算を見ても判るとおり Go To トラベル事業に予算配 分を取り、医療、福祉崩壊状況を打破するための予算措置 についての要求には、予算配分は適正であるといっている ようでは、コロナ後における、福祉事業推進には心配はつ きません。</p> <p>世の中の弱い人に対する差別は、失業率の増加等に現れ ているし、こうしたことのないように事業を進めていかな ければなりません。</p>	<p>計画策定にあたっては、「第IV章 第1 効果的なサービス 提供体制 1. 関係機関等との連携 （1）住民意識の啓 発及び（6）富谷市における地域包括ケアシステム」に記 載のとおり、障がい児・者本人、家族、地域住民、教育、 事業所等関係機関が協働で障がい者を取り巻く環境の更な る向上を目指し「誰もが安心して暮らせる富谷市」の取組 みを推進してまいります。</p>
5	<p>第4章 計画の 推進に 向けて</p>	<p>3. 全体に網羅されているように思いますが、デジタル化 に対応していく必要があると思います。障がい者福祉計画 にも、ICT対応だけでなくプログラミングを含めた対応 していく必要があります。グローバル化（国際化）、人工 知能（AI）や動画やモノのインターネット化（IoT）、 ロボットが当たり前の時代となりました。今計画について も更に進めた対策が必要だと思います。</p> <p>そして、障害に係わる人に関する制度を、なるべく分か</p>	<p>デジタル化に関しましては、個々の対応の一例として就 労定着支援では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点 から対面による支援が困難である利用者様に対してオンラ イン相談等の対応を行っております。</p> <p>また、計画に関しましては、令和5年度までの計画期間、 障がい施策指針「障がい者計画」にて国の動向を注視し確 認してまいります。</p> <p>なお、障がいに関わる人に関する制度につきましては、</p>

富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画（案）パブリックコメントに対する考え方

NO	項目	意見の概要	市の考え方
		<p>りやすく伝えることを目指し、「サービスを利用する人が理解できる」ことについて努めていくべきだと思います。</p>	<p>「第IV章 第1 効果的なサービス提供体制 1. 関係機関等との連携 (2) 保健福祉・障がい者自立支援サービスなどの情報の提供」に記載のとおり、各種媒体を通じて、分かりやすい情報の提供及び発信に努めてまいります。</p>
6	<p>第4章 計画の 推進に 向けて</p>	<p>4. 同時に進行しようとしている地域福祉計画とも連携した取り組みが必用です。</p>	<p>「第I章 計画の概要 第1 計画の理念 3. 計画の位置付け」に記載のとおり、富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画は、平成28年度(2016年度)に策定した上位計画である富谷市総合計画や福祉分野の上位計画である地域福祉計画その他関連計画との整合性を図るとともに、国の第4次障害者基本計画や県の計画である第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画、みやぎ障害者プランとの整合・連携を図りながら策定してまいります。</p>